

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 7月27日更新

事務事業名		強い農業づくり交付金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	木永 和博
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	長島 正和
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 11615	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	近年の豪雨や大型台風による被害等の多発と被害拡大を踏まえ、老朽化等により十分な耐候性がなく対策が必要な農業用ハウスについて、都道府県が策定する被害防止計画に基づき、市町村が行う既存農業用ハウスの補強等を支援することで、災害による農業用ハウスの倒壊や損傷を防止する事業（農水省）その対策として、農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金を活用し、農業用ハウスの強靱化を図る。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、概算払い支払い事務、確定事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	既存農業用ハウスの再建やハウスの新・増設に対する支援は制度が少なく補助要件が厳しいという農家の声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、概算払い支払い事務、確定事務を行った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
R1 (H31)は平成30年の台風被害を受けて4農業者(経営体)に補助金として交付した。		事業申請受付から補助金確定までの一連事務災害に備えてハウス等の補強を検討する農家(農業者)の申出を受け付けて、同様の支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 戸	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請した農家戸数		事業申請者増(4名⇒5名)に伴う補助金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
志志市在住の農家		(単位) 戸
		→ ア: 農家戸数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ハウスの補強を図ることにより台風等被害を減少させ、安定的な農業経営を図る。		(単位) 戸
		→ ア: ハウス強靱化できた農家数
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
ハウスの補強を希望する農家が強靱化できることで災害による施設の倒壊等を防止することができると考え設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 戸				4	4	5			
	イ									
② 対象指標	ア 戸				505	505	505			
	イ									
③ 成果指標	ア 戸				4	4	5			
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円			4,590	5,582			
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円			0	4,590	5,582			
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0			
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0				
人件費	正規職員従事人数	人			2	1	2			
	延べ業務時間	時間			0	300	350			
	(B)人件費計	千円			0	1,188	1,394			
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	5,778	6,976			

事務事業名	強い農業づくり交付金事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ハウスの補強に取り組む農家が全て強靱化できた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 補強を希望する農家に対して補助の見込みがあり達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ハウス補強を求める農家（農業者）は多く、施設も複数あるため向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業用ハウスに特化した事業であり他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 災害に対して補強し、被害を防止するものであり削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 農家（農業者）の求めに応じて申請事務を行うため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 制度に基づき定額及び1/2を補助し、自己負担も必要であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の事業により、県が策定する被害防止計画に基づいて行うものであり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

農水省がH30の台風災害等踏まえ、農業用ハウス等強靱化する事業について間接受け入れとなり4農業者（経営体）についてハウス強靱化を図った。次年度までの事業となり周知を図っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						